



残暑お見舞い申し上げます

今年の九州地方は本当に暑い夏です。高原の南阿蘇でさえ 30 度を越す日が続き、お隣さんはたまたずエアコンを取り付けたとか。ふだんは扇風機さえあまり使わなくてもよい我が家ですが、今年はさすがに使います。北京オリンピックの影響と密かに思っているのは私だけでしょうか(笑)。それでも熱帯夜というのはまずありません。早朝は肌寒いほどです。

さあ、稲刈りまであと約3週間!この1ヶ月で...



穂が出ると同時に花が咲き...

実になりました。

穂が出たばかりのときは、太陽に透かしてみるとまだ実が入っていないのが分かります(写真中)。それがだんだんと重くなり、しだいに頭を垂れ始めるのです。おお、実が入った!と感動する瞬間。実が入り始めると、今度は重すぎて倒れないかが心配になってきます。実が入らないのも心配なら、入りすぎるのも心配。何事もバランスが大切なんですね。稲刈りまではいろんな心配事があるというわけです。

コイやアイガモを入れたり、コータが草取りをしたにもかかわらず、田んぼのあちこちから世にも恐ろしい稗(ヒエ)が出てきてしまいました。まさしく「ヒエ~!」...くだらなくてすみません。というわけで、ヒエ取り作業です。稗は稲にそっくりで、刈り取ってみたら稲だった、ということも。穂が出れば見分けが付きやすいのですが、種が落ちてしまったらタイヘン!来年はヒエ農家になってしまいます。種が地面に落ちる前が勝負。やっぱり「ヒエ~!」なのです。

あぜ草をあつーい思いをして耕太が切ったにもかかわらず、高温と夕立ちで雑草は恐ろしい勢いで伸びています。一通り刈り終わったら、最初に刈ったところはもうすっかり伸びているんですから。草とのあくなき闘いは最後まで続きます。

話は変わりますが、いつかやろうと思いつつと時間がたつてしまっていた作業ようやく手をつけました。苗を育てた育苗箱を洗う作業です。細い根っこや泥がこびりついているのを洗って、来年また



使えるように収納しておくのです。田植えが終わったらさっさと洗う人がほとんどなのですが、今年の家は田植え直後に3男が生まれたため、タイミングを逸していました。ところが、これが意外な発見。苗箱洗いは夏にするのが絶対にいいんです！日中は暑すぎて、田んぼや畑での作業には向きません。でも、箱を洗う作業なら涼しくて快適。用水路に入り、じゃぶじゃぶと水しぶきを上げて洗いました。その数、約600。腰にきます。洗い終わった箱を縛っていたら、夏休み中の近所の子供たちが手伝いに来てくれました。わが家の息子達も手伝おうとはするものの...数分後にはこんな感じ。それでも本人達は「お仕事をした」と満足気なので、まあよしとしましょう。



キュウリの出荷も始まっています。収穫や管理はともかく、どうも選別や箱詰めの作業は男の人に向いていないらしく、耕太も励志おじも消極的。ならば私が！と、耕太が子守りをしてくれると言うので交代したのに、「ボクも行きたい」と結局ついてくる息子たち。そんなわけで、作業場は子供だらけ。なんだかピンボーの子沢山みたいで、我ながらおかしくなってしまう。どこでも寝れる讃太郎は、キュウリにまみれてスヤスヤ。お腹一杯キュウリを食べる夢が見られそう！？



まだまだ暑い日が続きそうですが、皆さまどうぞ夏バテなどなさりませんよう。来月はいよいよ新米がお届けできる予定です。今年はお天道様も十分に照りつけ、豊作の予感！あとは台風が直撃しないことを一緒に祈ってくださいね！新米は何ととっても格別です。どうぞお楽しみに！

お知らせ

年間契約のお客様につきましては、特別変更が無い場合には来年度（H20年9月～H21年8月）もこれまでと同じペースで送らせていただきます。変更をご希望の方は、どうぞ遠慮なくお知らせ下さい。しっかり対応致します。

